



みんなで探して 発見！ 身近な自然



いつもいきもの情報をありがとうございます。いただいた情報は、貴重な記録として集約いたしております。紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。みなさんが発見したいいきものや自然情報をご紹介します！みなさんはどんな発見をしましたか？ふりかえってみましょう！

今年はどんな発見があったかな？



区民による身近な生物調査ロゴマーク

タヌキは武蔵野台地に広く分布しており、台地の端の目黒区でも比較的良好目撃されます。区内にも彼らの生活を支えられる自然（エサやねぐら）が残っている証拠と言えます。



タヌキ（イヌ科）

3月18日 タヌキは初めての目撃です。今日の目撃は午後1時半前後の数分です。（碑文谷4丁目自然通信員）

主に小型の鳥類を食べる肉食性の猛禽類。都市部の緑化などにより都会でも見られるようになりました。



ツミ（タカ科）

1月5日 アオジを1時間～1時間半かけて完食する。（碑文谷5丁目通信員）

2019 みんなの発見

今年は6月20日までに652件の情報が寄せられました。もっとも多かったのは鳥類で、46種362件でした。

幼虫はユズなどのミカン類、カラタチなどを食べます。ほかのアゲハ類に比べて日陰を好みます。



クロアゲハ（アゲハチョウ科）

4月17日 庭でクロアゲハがユズの葉に止まりました。（本町2丁目通信員）

2月下旬から3月末の産卵の時期と4月末からの目撃情報が多数ありました。日本には、東日本にアズマヒキガエル、西日本にニホンヒキガエルの2つの亜種系統が生息していましたが、近年交雑が進み、見分けることが難しくなっています。

池やその林縁部で4月～8月頃まで見られます。



クロスジギンヤンマ（ヤンマ科）

5月26日 中目黒公園の池にて尾の先を水につけて産卵していました。（自然通信員）

地面を歩きながらミズや昆虫類を捕らえますが、木の实なども好んで食べます。



ツグミ（ヒタキ科）

2月14日 庭にツグミが舞い降りました。（南3丁目自然通信員）

写真の個体はメス。オスは顔が黒く頭は銀色でおなかはオレンジ色です。



ジョウビタキ（ヒタキ科）

1月25日 庭の小鳥の水浴び場にきていました。（南3丁目通信員）



夜行性なので、春から秋にかけては、夜になると食べ物を求めて出てきます。

ヒキガエル（ヒキガエル科）

3月6日 寝ぼけて動きの鈍いヒキガエルがいた。（東が丘1丁目自然通信員）

いきもの情報募集中!

2019年は「甲虫」をテーマに身の回りのいきものを調べてみましょう。見つけたら下記の記録票に記入し、みどりの係までお送りください。写真がある場合は一緒にお送りください。

クワガタムシ科 ノコギリクワガタなど



オス

コクワガタ

出現期：5～10月

雑木林や神社、公園の様々な樹液の出る木に集まります。

コガネムシ科

カブトムシやカナブンなど

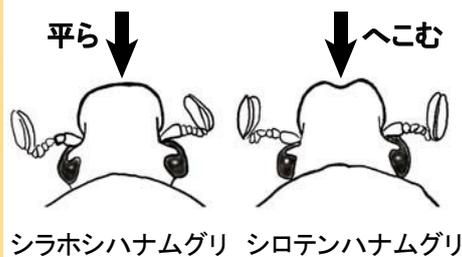


シロテンハナムグリ

出現期：5～9月

雑木林や公園の樹液が出ている木や花にも集まります。

シロテンハナムグリとシラホシハナムグリの見分け方



シラホシハナムグリ シロテンハナムグリ

甲虫をさがしてみよう!

日本にいる甲虫目は約130科約10,000種が知られています。そのうち森林や草地で見られる次の5グループに含まれる甲虫を探してみましょう! 代表的な種を例に挙げます。

コウチュウ目5グループの成虫の食性と生息環境

クワガタムシ科

里山や雑木林に生息する。成虫は樹液に集まるが、種によってその樹種が異なる。

テントウムシ科

肉食性(アブラムシ類など)、菌食性、草食性に分けられ、対象となるエサのある場所で見られる。

カミキリムシ科

花・樹液・樹皮・樹木や草本の葉・菌類・樹脂を食べるので、主に樹林に生息する。

コガネムシ科

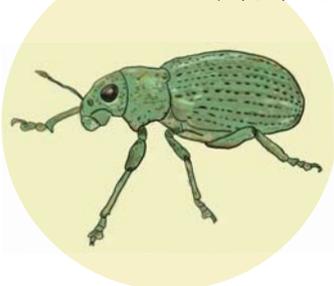
草食性。植物の葉や花粉などを食べるが、樹液に集まる種もいる。カブトムシもこの科の仲間。

ゾウムシ科

草食性。長い口(口吻)で植物内部の深い部分を食することができる。樹林や草地に生息する。

ゾウムシ科

シロコブゾウムシやスグリゾウムシなど



コフキゾウムシ

出現期：4～9月

林縁や草地の、特にクズやハギの葉の上で見られることが多いです。

テントウムシ科

ナナホシテントウやナミテントウなど



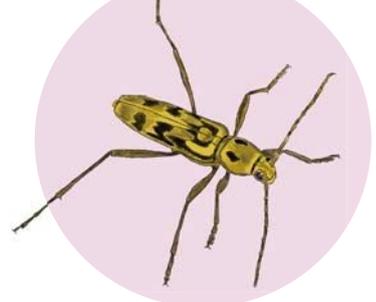
ムーアシロホシテントウ

出現期：3～10月

目の後ろに黄白色の斑紋が4つ並んでいるのが特徴です。

カミキリムシ科

ウスバカミキリやキボシカミキリなど



キイロトラカミキリ

出現期：5～8月

クリなどの花に飛んできてコナラなどの倒木に集まります。

近年みられる外来種

クビアカツヤカミキリは本来中国大陸などに分布しますが、2015年に東京都でも見つけられました。2018年1月から特定外来生物に指定されました。幼虫はウメ、カキ、モモ、ポプラなどの樹木の内部を食べるため枯れる原因になります。飼育や保管が禁止されているので見つけたら区に連絡しましょう。



上記5種以外のいきもの情報もお待ちしています!



記録票

自然通信員番号：

お名前：

見つけたいきものの種名	いつ(年・月・日)	どこで(公園名。ご自宅は『庭』とだけ、緑道・川は町名と番地まで記入します)	観察した内容(数や様子など)、いきものたちへのメッセージ

◆観察情報や写真は郵便・FAX・メールでみどりの係までお送りください。みなさんからの情報をお待ちしております♪

